

令和4年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

<目指す子ども達の姿>

自主性を持って様々な活動に取り組み、感性豊かに感じ、考え、行動することを楽しむ。

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の2点を常に意識して取り組みます。

- ①元気にのびのびと体を動かすことを楽しみ、素直で明るい心を育てること
- ②豊かな感性で気付く面白さ・考える楽しさ・行動できる充実感を繰り返し体験し学ぶことの意欲を育てること

子ども達が、安定した人間関係の中で生活や遊びを通して社会のルールや優しさと思いやりを身につけていけることを意識し、計画を立てて日常の保育に取り組みます。

II. 今年度の重点目標

- 教育課程・指導計画の充実及び周知
- 公開保育研修の実施・充実
- 教職員の資質向上
- 全体会議の活性化
- 安全管理体制の強化

III. 取組み状況と今後の課題

自己評価項目		取組み状況	
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	B	子どもたちの成長を考慮し、指導計画を詳細に立て、目標を明確にできた。職員同士で子どもたちの年齢やクラスの状況、季節に合わせた活動を話し合いながら計画し、活動後に感想や反省を共有し次に生かすことができた。日々の保育内容を見直し、成長に適したカリキュラムを構築するため、意図や本質について職員同士で話し合い、新たな気付きや発見を得ることができた。
2	公開保育の継続実施	B	職員は自分の希望する学年のクラスを見学でき、また園行事の保育参観においても学年ごとに時間をずらして行うことで他の職員の保育方法やクラスの雰囲気を知り、学ぶことができた。他の職員の様々な保育方法を学ぶことで、自身の保育の見直しと改善に活かすことができている。園内では互いに学び合い、レポートを通じて学んだことや考えが共有されている。

令和4年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	<p>教職員が視野を広げ知識を深めようとする姿勢を持ち、子ども達の興味や関心を引き出す工夫を行っていく。</p> <p>A</p> <p>興味や関心を引き出すための方法を先輩の先生に相談し学ぶ環境がある。新しいことを学び、お絵描きにおいても子どもらしい表現を引き出す方法や指導について考えるようになった。細かく子どもたちの様子を見て興味を引く努力をしており、一人ひとりの性質に合わせて丁寧に関わることができた。保育をただするだけでなく、子どもたちが興味・関心を持ったことを取り入れた活動を行うことができている。</p>
4	全体会議の活性化	<p>自らの意見に自信を持つとともに積極性を養い、他の教職員の考えも尊重して耳を傾けていく。</p> <p>A</p> <p>職員同士が協力して意見や考えを交換し合い、より良い保育を目指して話し合っている。先輩は後輩の意見を引き出せるように配慮し、状況に応じて話し合いの進め方を変えている。職員会議では一人一人が意見を述べながら他の職員の考えも聞くことで新しい視点が生まれ、共感し合うことや意見交換ができている。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>防災頭巾の取り扱いを周知徹底させるとともに、教室内外の危険個所の確認を定期的に行う。</p> <p>A</p> <p>避難訓練は既定の回数以上に行い、子ども達の移動や防災頭巾の着用を迅速に行えるようにできた。職員間の決めごとを抜き打ちでチェックすることで、全職員が把握しているか確認できた。</p>

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	ただ人に教えてもらった通りにするのではなく、一人一人がその活動の意味について深く考え進めていく事で子どもたちの成長に合った保育を行っていききたい。今までの経験のみに頼らず、新しい考えを持って保育をしていききたい。
2	公開保育の実施・充実	研究保育が年に一度になってしまっているが、同学年のクラスと担任の指導方法や、他の学年（年齢）の子どもたちの様子や指導方法の両方を学べる機会を増やしていききたい。
3	教職員の資質向上	さまざまなテーマに挑戦し、子どもたちが興味を持って楽しんで学べるよう知識を増やしていききたい。保育内容についての知識を得る場所を園外にも設けていききたい。
4	全体会議の活性化	意見を求められた先生が話しやすいと思える尋ね方をしたり、雰囲気を作ることが大事だと思う。その為にもそれぞれの持つ意見が違っていても、お互いの意見を認め合う言葉がけに配慮していききたい。
5	安全管理体制の強化	不審者の対応について見直し・再確認をしていききたい。安全に避難できるよう整理整頓をし、避難の妨げにならないよう注意していききたい。

令和4年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

V. 学校関係者の評価

本年度の自己評価、取り組み状況について、よく考えられ、適切に実施されていると思います。こどもの個性をよく見た上で、その子に合った声掛けを適切に行って下さっていると思います。こどもの日々の様子を見ていますと、先生方が愛情をもって温かいまなざしで関わって下さっているのがよくわかり、担当でなくてもお一人お一人が、こどもの事をよくみて下さって、誠実にこどもと向き合っていると感じます。先生方の姿そのものが、こどもにとって良きお手本となっているように思います。こども自身が安心できる環境の中で、その子が持っている個性を大切にされながら、聖ヶ岡幼稚園の教育目標に掲げられている「目指す子ども達の姿」に向かって、日々、成長してくれていると思います。私自身も安心してこどもを預けることができます。

<保護者>

園の自己評価について、適切に考えられていると思います。今回がB評価の点も先生方、ひとりひとりが教育目標をしっかり意識して日々保育に取り組んでくれているので、今の評価だとどちらもAだと思います。日頃より先生全員がこどもひとりひとりをしっかり見て下さっているのがいつも実感できて、教育目標でもある安定した人間関係の中で、保育に取り組んで頂けるので安心して預けることができます。最近ではSNSも導入されて今まで以上に身近に保育の様子を見ることができます。こども達の表情を見るだけで、のびのびと素直で明るい心が育っているのがよく分かります。

<保護者>

こども達が元気に楽しくのびのびと育っていけるように日々、先生方が努力されていることがよくわかりました。毎日の保育だけでもお忙しい中、公開保育もされていて気づきや学びもあり、意見交換ができてとても良いことだと思います。コロナが5類に移行したとはいえ、まだまだ落ち着かない中、様々な行事も積極的に行われていてこども達にとってかけがえのない思い出として心に刻まれていることと思います。

<評議員>

以上